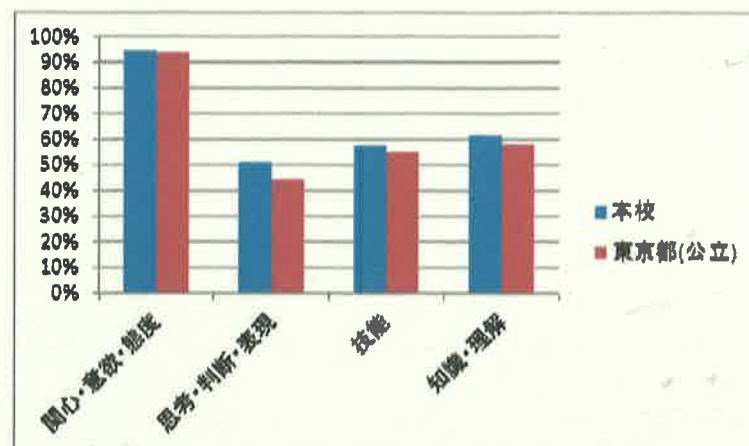


社会（児童・生徒の学力向上を図るための調査）

1 観点別の正答率についての分析

(1)社会A:教科の内容

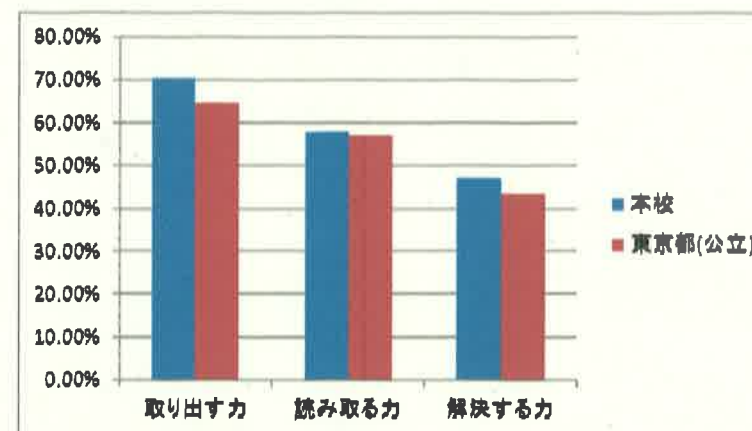


- ① 思考・判断・表現については、東京都の正答率 44.3%より約6%上回る結果となった。
- ② その他の三観点についても、東京都の正答率より上回る結果となった。

結果からの考察

「思考・判断・表現」に関する問題の正答率が 50.9%だったことが大きな成果である。この問題の正答率が高くなった理由として、授業内での学び合い活動の成果だと考えられる。課題解決のために、4人1組で意見を出し合うことで、資料の見方や考え方が伸びたと考えられる。今後も、課題に対して意欲的に取り組めるような発問やワークシートを作っていきたい。

(2)社会B:読み解く力に関する内容



- ① どの力も東京都の正答率を上回っている。

結果からの考察

今回の結果から、『取り出す力』が東京都の平均より上回っているため、資料から情報しっかり取り出す力がついてきたと思う。また、他の観点においても東京都の平均よりも上回っているため資料活用の技能や思考力がついてきたと思う。

2 授業改善のポイント

- (1) 今回の結果から、学習意欲を持って積極的に授業に取り組めると、様々な力が伸びてくると感じた。学習意欲を高めるようなワークシートの作成や、授業構成について、これからもしっかり考えて臨んでいきたい。
- (2) 資料の読み取りは、できるようになってきたが、コツコツと知識の量を増やしていくところは、まだまだである。知識があって、さらに思考力が高められるので、定期的には小テストなどを導入して、コツコツと学習する習慣が身につくよう指導していきたい。